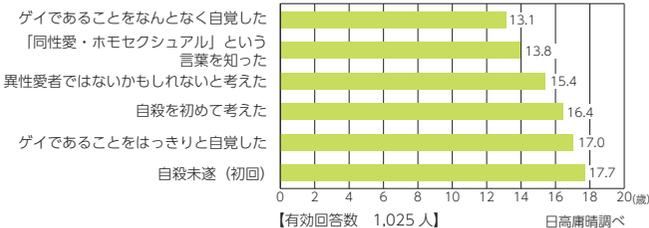


ゲイ・バイセクシュアル男性の思春期におけるライフイベント平均年齢



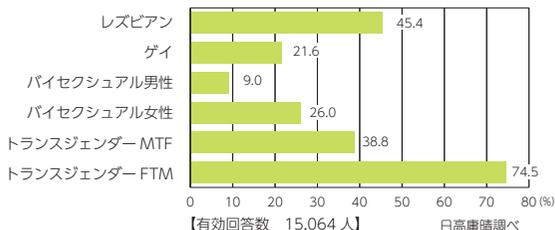
差別的言動を見たり聞いたりしたら？

周りの人と一緒になって笑わない、同調しないことはもとより、からかひや差別的な言動は間違っていると毅然と指摘することも時には必要となります。また、「アライ（理解（支援）者）」となり、誰もが生きやすい社会を一緒に作っていくこともできます。

あなたがカミングアウトされたら？

カミングアウトとは、秘密にしていたことを打ち明けることです。あなたが信頼されている証ですので、真摯にその話に耳を傾けてください。そのうえで信頼して話してくれたことに、「ありがとう」と伝え、今までどおりであることが大切です。打ち明けた方も精一杯の気持ちで打ち明けてくれたことを考えてください。また、何か心配事や相談事があれば、人権に関する相談機関などに相談しましょう。

LGBTの親へのカミングアウト率



LGBTの親へのカミングアウト率は、10歳代から30歳代までの比較的若い世代は4～5人に1人程度ですが、40歳代を超えると低くなる傾向にあり、高齢になるほど親へのカミングアウトは困難になる状況にあります。

アウトティング

- アウトティングとは、本人の許可なく他人に性的指向や性自認などの個人の秘密を暴露することです。
 - ラインをはじめとするSNSに書き込むことなども、アウトティングにあたります。
 - アウトティングをされたことで、本人が自殺を図る事件も発生しています。
- アウトティングは、自分のセクシュアリティを他人に知られたくない人にとって、重大な人権侵害です。本人の了解なしに、決して他人に知らせないようにしましょう。

大阪市の取り組み

大阪市では、性的マイノリティに対する支援を積極的に進めています。



大阪市ホームページ「大阪市LGBT支援サイト」
<http://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000397620.html>

国の取り組み

法務省では「性的指向」「性同一性障がい」が各々、主な人権課題の一つとして位置付けられており、不適切な取扱いを行った事案に対して、人権擁護機関が救済措置をとった事例があります。
http://www.moj.go.jp/JINKEN/jinken04_00126.html

性的マイノリティにかかる相談窓口

● 大阪市人権啓発・相談センター

<http://www.city.osaka.lg.jp/shimin/page/0000369807.html>

場 所 大阪市西区立売堀4丁目10番18号

相談電話 06-6532-7830

時 間 平日（月曜から金曜） 9:00～21:00
 （施設点検日・年末年始を除く）
 日曜・祝日 9:00～17:30

メール相談



● みんなの人権110番（法務省）

電 話 0570-003-110

時 間 平日（月曜から金曜） 8:30～17:15
 （祝日・年末年始を除く）

インターネット相談窓口（パソコン、携帯電話、スマートフォン共通）
<http://www.jinken.go.jp/>

● セクシュアルマイノリティ電話相談（宝塚市）

電 話 0797-71-2136

時 間 毎週水曜 15:00～18:00
 （祝日・年末年始を除く）

● QWRC【くおーく】（NPO法人）

LGBTなど多様な性を生きる人と女性のためのリソースセンター

電 話 06-6585-0751

時 間 毎月第1月曜 19:30～22:30

【監修】日高 庸晴

宝塚大学看護学部教授
 日本思春期学会理事
 厚生労働省エイズ動向委員会委員

【発行】大阪市人権啓発・相談センター

大阪市西区立売堀4丁目10番18号
 （電話）06-6532-7631 （FAX）06-6532-7640

性的マイノリティをめぐる人権

● 性的指向・性自認・性別表現 ●

性の多様性について 考えてみましょう

誰もがありのままの自分を
受け容れられ、
自分らしく生きることができる
社会の実現を！



大阪市人権啓発・相談センター

大阪市人権だより「KOKORO ねっと」号外
 （法務省委託事業）

（平成 29 年 10 月発行）